

徳之島町立亀津中学校 公開研究会

【研究主題】

支え合い 学び合う 魅力ある学校づくり ～不登校の未然防止と早期発見・早期対応の取組を通して～

【研究の構想】

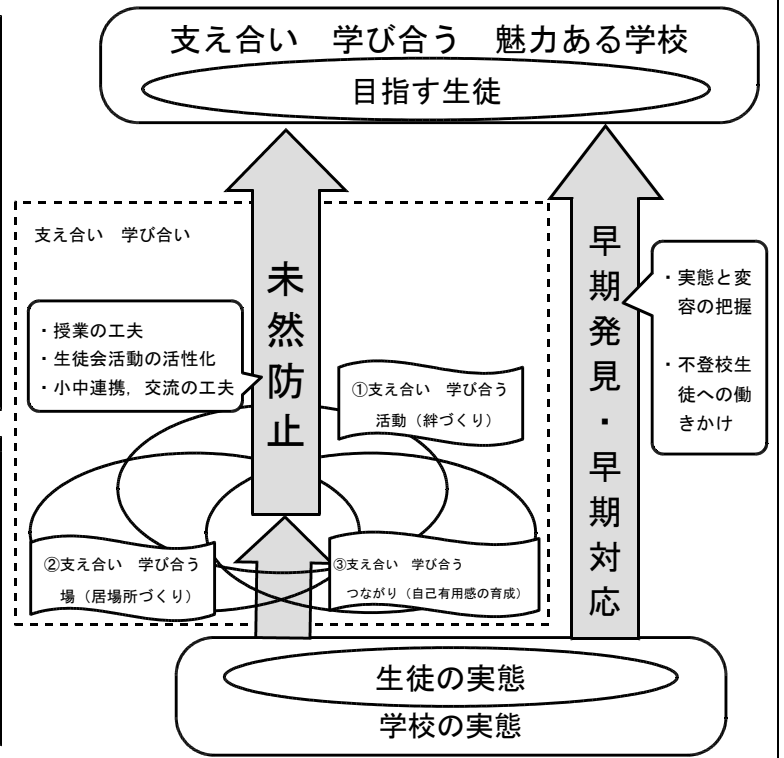
〈仮説1〉
授業でのグループ活動や生徒会活動、学校行事において、支え合い、学び合う生徒の主体的な活動を活性化し、小中連携の取組を工夫することで、不登校の未然防止につなげることができるのではないか。

〈研究の内容：不登校の未然防止のための取組〉
 (1) 誰もが達成感を味わい、喜びや楽しさを実感する授業の工夫
 ア 「分かる・できる」授業の工夫
 イ 授業力向上のための、教師同士の授業参観
 (2) 集団の絆や一人一人の居場所づくりのための生徒会活動の活性化
 ア 青少年赤十字活動の充実
 イ 生徒会活動の活性化と活動の工夫
 (3) 小中連携・交流の工夫
 ア 教職員の連携
 イ 小学生と中学校教師との交流
 ウ 児童・生徒同士の交流

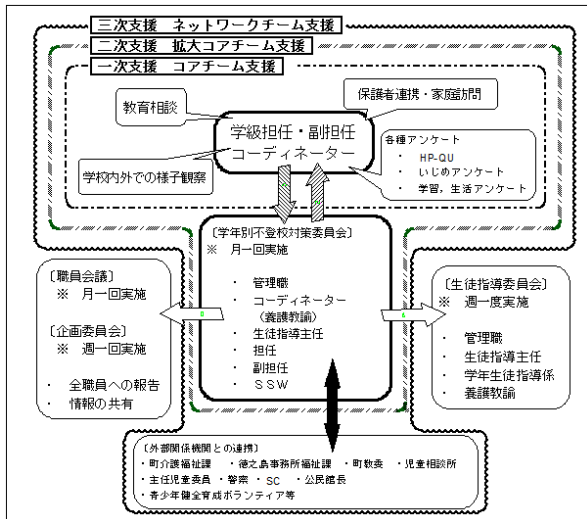
〈仮説2〉
アンケート調査を基に、生徒一人一人の実態や集団の状況を的確に把握・分析したり、不登校対策委員会を中心としたチーム対応の早期発見・早期対応につなげたりすることができるのではないか。

〈研究の内容：不登校の早期発見・早期対応の取組〉
 (1) 生徒一人一人や集団の実態と変容の把握
 ア 学習面、生活面、小中連携、学級満足度（ハイパーQ-U）のアンケートの実施と分析
 イ 分析を活用した研修の工夫
 (2) 不登校生徒への積極的かつ的確な働きかけ
 ア 不登校対策委員会の改善と実践の工夫
 イ 組織としての連携・対応の充実（校内組織、地域や関係機関の連携）

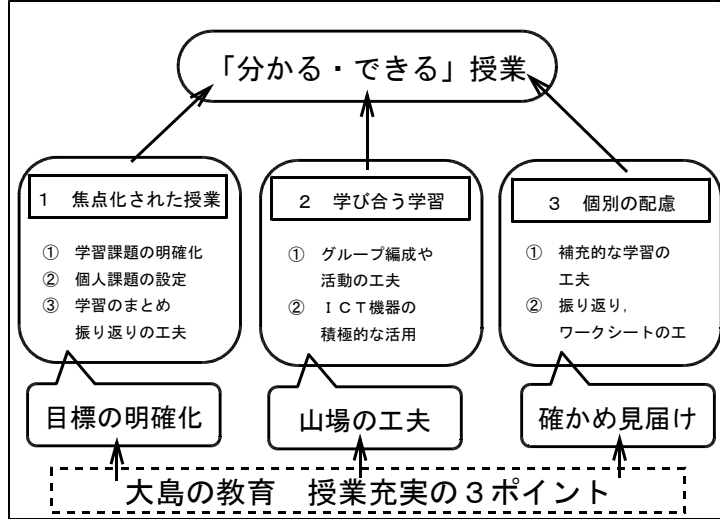
【研究の構想図】



【不登校生徒への支援体制と流れ】



【亀津中学校の授業の構想】



【小中連携における小学校への出前授業】

〔平成28年度〕
国語・社会・音楽・体育を実施

〔平成29年度〕
社会・理科・音楽・体育・英2語を実施

〔ねらい〕
・児童の進学に対する不安や抵抗を和らげる。
・児童の様子などを中学校入学前に把握する。
・中学校教諭の専門性を生かした授業を小学生が受ける。
・中学校教諭が小学校教諭の指導法を学ぶ。



〔合同教科部会での研修の様子〕



〔学び合う学習の様子〕

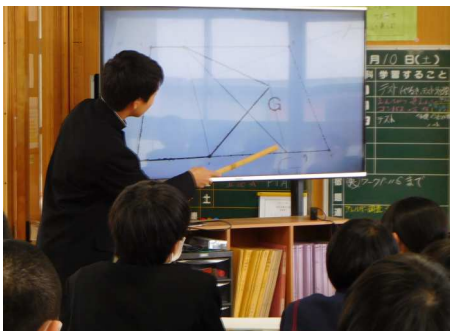


〔小学校への出前授業の様子：音楽〕

【公開研究会の様子】



〔学級活動：支え合い学び合うグループ活動の様子〕



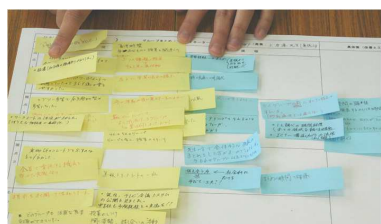
〔数学：学び合い、学習を更に深めるためのICT機器の積極的な活用の様子〕



〔社会科：授業に意欲的に取り組む様子〕



〔分科会のグループでの話し合いの様子〕



〈ワークショップ型の話し合い〉
課題に対して、建設的な意見をたくさんいただきました。



〔全体会の様子〕

〈公開授業、分科会での感想や意見〉

- ・生徒が考えやすいようにいろいろな手立てや工夫があり、生徒が活発に活動していた。
- ・ノートの取り方、色の使い方等、小中で連携できるとよい。
- ・ICTを活用し、分かりやすく丁寧な授業だった。
- ・生徒が学び合う場面をもう少し見たかった。
- ・先生が一人一人を見て声をかけている姿がよかった。生徒も自信をもって取り組んでいた。
- ・考えの広げ方や、自己評価の在り方等、今後更に考えていかなければならない。
- ・導入（課題設定）とまとめの難しさを感じた。
- ・アンケートの内容や分析なども参考になった。
- ・分科会での話し合いの時間がもっとほしかった。話し合いが盛り上がってよかった。
- ・小中高それぞれの校種から意見交換ができてよかった。